

平成 28 年度 国際連携研究助成 採択者

〔研究者〕	
	氏名 江頭 竜一（エガシラ リュウイチ） 所属 融合理工学系 職名 准教授
〔タイトル〕	
国際開発工学を通じた AOTULE 加盟大学との学生交流	
〔背景〕	
<p>国際開発工学科の授業科目の一つである「国際開発工学コロキウム」においては、学生のグループごとに国際的な模擬プロジェクトを遂行、この結果の発表、討論、等を通して、個々の工学分野の統合、応用を体得させこれらの国際的、社会的重要性を認識させている。この授業科目は平成 9 年以来 20 年近く開講しており（当初の科目名は「開発システム工学コロキウム」）、アクティブ・ラーニング科目の先駆である。平成 23 年度からは各種プロジェクトに関して他国の学生とも討論する機会を設けるべく最も評価の高かった学生数名を本助成金等を利用して AOTULE 学生会議に派遣している。派遣した学生にとって貴重な経験となる上に、プロジェクトに関する他国の学生との意見交換、全受講学生の AOTULE 学生会議派遣への意欲を発奮材料とした授業そのものの活性化、AOTULE 学生会議を通じた学生交流の活発化、など多くの成果が得られている。</p>	
〔目的〕	
<p>上記のとおり「国際開発工学コロキウム」の受講生の中から優秀な数名を中国・香港科技大学において開催の AOTULE 学生会議に派遣し、会議で与えられたプロジェクトの遂行や同時に開催されるイベント活動を通して「国際開発工学」をキーワードとした交流を体験させる。</p>	
〔実施計画概要〕	
<p>上記「国際開発工学コロキウム」において最も評価の高かったグループから 3 名の学生を選抜し AOTULE 学生会議に派遣する。本年度の AOTULE 学生会議は 11 月 24~25 日に中国・香港科技大学で開催され、学生はそれぞれ他の AOTULE 加盟大学の学生（主に大学院生）と無作為に 5 名ずつのチームを作り、チームごとに与えられたプロジェクトを半日で検討、翌日その内容を発表し意見交換を行うという課題解決型の活動に取り組む。この活動終了後には香港市内の文化施設などの見学ツアーにおいても交流を深める。学生の引率には申請者が 1 名で当たり、また我々の本渡航プログラムについて他の AOTULE 加盟大学の教員と情報・意見交換し今後の拡充について探る。</p>	